

## アドヴェント第一 ルカの福音書 1章 26～38節「神を待ち望む力」

廣田 信之 師

クリスマスの季節になりました。救い主イエスさまがこの地に来てくださった感謝と喜びの時。それと同時に、イエス様がまた来る約束を、忙しさの中でも忘れないように待ち望む時でもあります。

世界ではじめのクリスマスは、感謝と喜びの前に恐れと不安がありました。マリヤのところにやってきた御使いは「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。」と言います。マリヤは「ひどく戸惑った」とあります。まだ結婚していないのに「あなたは身ごもって男の子を生みます」さらに「その子は大きいなる者となり、いと高き方の子と呼ばれます」と言われました。御使いの言葉にマリヤは、どう受け止めたらよいのか分からなかったことでしょう。こんなことは普通はありえないことで、誰かに相談したら「思い込みや嘘ではないの？ 冷静になったら」と思われるでしょう。

「どうしてそのようなことが起こるのでしょう」神さまの働きは、人間の知恵では理解できないことが多いものです。主は、能力や権力・地位がある人だけでなく、特に目立たない普通の人を選び、声をかけ用いられます。人間の考えでは決して起こりえない、無理なことだと誰もが思っても、それが神のご計画なら「神にとって不可能なことは何ともありません」主が成し遂げてくださいます。

どのようにして主は成し遂げてくださるのでしょう。それは「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます」とマリヤに告げられたように、主の御霊の働きです。そしてまた、マリヤには親類のエリサベツのことを例として教えてくださいました。神さまは直接その人に働きかけると同時に仲間も与えてくださいます。今、聖書のメッセージに目を留めているあなたにも御霊なる主は働き、教会の仲間を与えておられます。「おめでとう、恵まれた方」と言う言葉が心に響いてきませんか。

ただし、神の導きには時があります。私たちはすぐに答えを欲しがりますが、神さまは時をかけられます。救い主の約束からその実現までの期間はどれほどでしょうか、、、旧約聖書すべてです。そしていよいよとなった時も、イエス様はマリヤのお腹に宿り、生まれ成長し人々に宣教するまで待つ必要がありました。神さまは、私たちが戸惑い試練と思う時を通して約束を必ず実現されます。それは主が御心のままに成される方だと私たちが体験を通して知り、神を信じ待ち望む力を与えるためなのです。